



## インターネットを利用するときの約束



インターネットには、身近な生活にかかわるものから学習に役立つものまで、多くの情報があります。しかし、インターネットは「相手が直接見えない。」ということや、「すべてが、よい情報ばかりとは言えない。」ということなど、気を付けなければいけないことも多くあります。

インターネットを使うときは、約束やルールを守って、上手に、そして、気持ちよく利用できるようになりましょう。

### 1 基本の約束

#### (1) 自分の責任で利用すること。

インターネットは、いろいろなことができますが、ホームページを見たり、メールを出したりするときなど、自分の責任で利用します。しかし、みんなが楽しく、気持ちよく利用するために、また、嫌なことから自分を守るために、インターネットを使うときの約束を守って利用するようにしましょう。

#### (2) 思いやりをもって利用すること。

インターネットでのコミュニケーションは、相手の顔や表情が見えません。しかし、言葉づかいや内容など、伝えたいことが正しく伝わるように気を付けなければいけません。いつも、相手の気持ちを考えて利用するようにしましょう。

#### (3) 相談しながら利用すること。

インターネットは大変便利で楽しいものです。しかし、インターネットで見ることができるものすべてがよいものばかりとは限らないので、利用するときは、先生や保護者の人と相談しながら利用しましょう。もし、困ったことや嫌なことがあったときは、必ず、先生が保護者の人に相談しましょう。

## 2 ホームページを見るとき約束

- (1) インターネットは、いろいろな楽しい情報を集めることができますが、ホームページに書かれていることが、すべて正しいとは限りません。また、古い情報かもしれません。ひとつのホームページだけでなく、いくつか違うホームページを調べたり、本で調べたり、大人の人に聞いたりして、さらに詳しく調べましょう。
- (2) ホームページの中には、子どもが見るのにはよくない内容のものもあります。そのようなホームページを見付けたら、すぐに、見るのを止めましょう。
- (3) インターネットでは、IDやパスワードを利用する場合があります。このIDやパスワードは、インターネットの世界で『あなた自身』を証明するための大事なものです。他人に教えたり、他人のIDやパスワードを利用したりすることはしないようにしましょう。また、学校では、先生の許可なしに利用しないようにしましょう。
- (4) ホームページの中で、アンケートやプレゼントに応募するために、住所や電話番号、名前などを書き込むようになっていることがあっても、答えないようにしましょう。また、インターネットで知り合った知らない人から「会いたい。」と言われても、会う約束をしないようにしましょう。
- (5) インターネットから、便利なプログラムを無料で手に入れることができます。これらは、フリーソフト（フリーウェア）と呼ばれていて、誰でも自由に利用することができます。しかし、学校のパソコンはみんなですべて利用するものです。自分勝手にフリーウェアをコピーしたりインストールしたりしてはいけません。



### 3 ホームページをつくるときの約束

ホームページを公開するということは、全世界の人がそれを見る可能性があるということです。もし、自分でホームページを作って公開することがあるなら、その内容には責任をもたなければいけません。

また、内容に問題がないか、誰もが見やすいようになっているかなど、ホームページを公開する前に、先生や保護者の人に見てもらい、直すべき所はきちんと直してから公開するようにしましょう。

- (1) 家族や友達のこと、特に写真などは勝手に載せないようにしましょう。
- (2) ホームページに、悪口や嘘など、見た人が困ったり、嫌な気持ちになるようなことは載せないようにしましょう。
- (3) 作った日付を載せましょう。
- (4) 連絡先はメールアドレスだけ載せ、実際の住所や電話番号は載せないようにしましょう。
- (5) インターネットには、写真・イラスト・音楽などがたくさんあり、私たちを楽しませてくれます。しかし、インターネットに公開されているからといって、何でも自由に利用できる訳ではありません。  
写真やイラストなどには、すべてに「著作権」というものがあります。著作権は、みんなで守らなければならない大切な権利です。  
著作権を守るために、次のようなことをしてはいけません。

まんがやアニメに出てくるキャラクターをまねてかいた絵を勝手にインターネットに流すこと。

ホームページにある文章や絵、写真を勝手にインターネットに流すこと。

本や雑誌、新聞などの文章や絵、写真を勝手にインターネットに流すこと。

テレビやビデオから取り込んだ映像<sup>えいぞう</sup>を勝手にインターネットに流すこと。

音楽の歌<sup>うた</sup>や歌詞<sup>かし</sup>を勝手にインターネットに流すこと。

友達のメールの中身<sup>なかみ</sup>をその友達にだまって勝手に使うこと。

コンピュータのソフトウェアを勝手にコピーして友達にあげること。

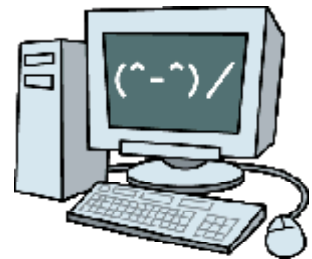
どうしても利用したいときには、必ず作った人に利用してもよいかどうかの許可をもらうようにしましょう。

#### 4 電子メール<sup>でんし</sup>を使うときの約束

電子メールにも、手紙<sup>てがみ</sup>や電話<sup>おな</sup>と同じように、気持ちよく使うためのマナーがあります。

次のようなことに気を付けて、上手<sup>じょうず</sup>に利用しましょう。

- (1) 相手の気持ち<sup>か</sup>を考えて書きましょう。
- (2) 読みやすい書き方<sup>かた</sup>を工夫<sup>くふう</sup>するようにしましょう。
- (3) 短<sup>みじか</sup>くまとめるようにしましょう。
- (4) ていねいな言葉<sup>ことば</sup>を使いましょう。
- (5) 送<sup>おく</sup>る前に読み直しましょう。
- (6) 題名<sup>だいめい</sup> (件名<sup>けんめい</sup>) を必ず付けましょう。
- (7) 送る前に相手のメールアドレス<sup>みなお</sup>を見直しましょう。
- (8) みんなの迷惑<sup>めいわく</sup>になるようなメールは送らないようにしましょう。
- (9) 「うそ」に注意<sup>ちゅうい</sup>しましょう。



- (10) 嫌なメールは相手にしないようにしましょう。
- (11) 自分に<sup>き</sup>来たメールの内容は人に見せないようにしましょう。
- (12) 住所や電話番号，家族の名前などは書かないようにしましょう。
- (13) 身に<sup>おぼ</sup>覚えのないEメールやファイルが送られて来たときは，嫌な内容だったり，ウィルスに<sup>かんせん</sup>感染したりすることもあるので，<sup>ひら</sup>開かずに，先生や保護者の人にすぐに相談しましょう。

## 5 <sup>けいじばん</sup>掲示板，<sup>とう</sup>チャット等を利用するときの約束

掲示板やチャットは，上手に<sup>つか</sup>使えばとても便利な<sup>どうぐ</sup>道具です。しかし，<sup>まちが</sup>使い方を間違えると<sup>ごかい</sup>誤解や<sup>げんいん</sup>トラブルの原因にもなります。利用する場合は，<sup>ば</sup>その場の気持ちに<sup>なが</sup>流されず自分の<sup>はつげん</sup>発言に責任をもつようにしましょう。

また，学校では，先生の許可がないときは利用しないようにしましょう。家でも，保護者の人と相談しながら利用しましょう。

次のようなことは，してはいけないことです。

- (1) 悪口や相手が嫌な気持ちになることを書くこと。
- (2) うそを書くこと。
- (3) <sup>いみ</sup>意味の<sup>な</sup>無い言葉を書くこと。
- (4) <sup>じじつ</sup>事実かどうかわからないことを書くこと。
- (5) 名前や住所を書くこと。  
(名前はニックネームを使います。  
Eメールアドレスも<sup>ひつよう</sup>必要でなければ書き込みません。)

参考 財団法人インターネット協会（電子ネットワーク協議会作成）  
「インターネットを利用する子供のためのルールとマナー集」